

# 吉田川 総合流域防災事業



## 河川概要

吉田川は、能義平野のほぼ中央を流下するもので、上流～中流部は県下有数の穀倉地帯となっており、下流部は国道9号沿道に住宅地が形成されている。

流域では古くから水害に悩まされ、特に昭和9年、20年、26年において、家屋・農地等の浸水被害が頻発しており、洪水被害防止を目的とした河川改修が必要とされている。

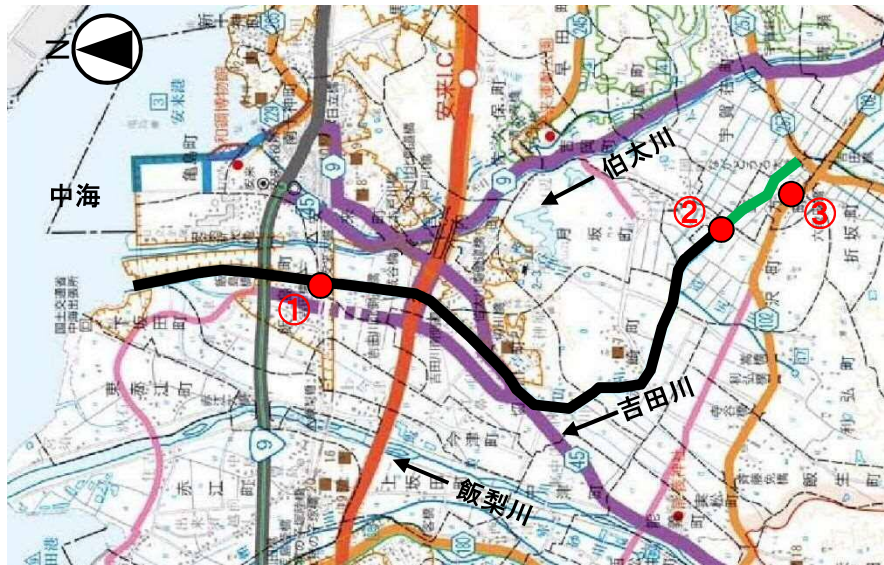
## 浸水被害履歴

S9、20、26、39、47、56、  
H7、9、23



凡例	
改修済区間	——
未改修区間	——
H23.9浸水区域	■

# 吉田川 出水状況写真



② 吉岡沢橋から下流(H23.9)



① 吉田橋から上流(H9.6)



③ 米子広瀬線(左岸)から吉田川(H23.9)

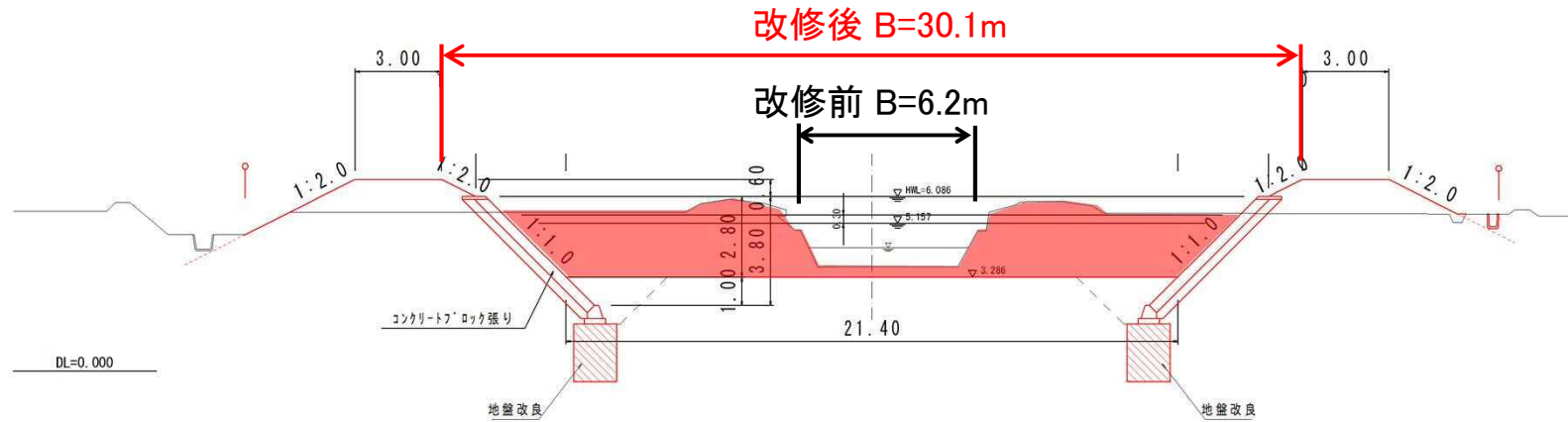
# 吉田川 想定氾濫区域図(1/10確率)



## 事業概要

1. 河道の拡幅・掘削により、著しく不足する流下能力を向上し、頻発する浸水被害の解消を図る。
2. 市道改良(歩道整備)事業と連携して橋梁架け替えを行い、通学路の安全を確保する。
3. 上流部沿川における圃場整備事業と連携して内水による浸水被害を軽減する。

# 吉田川 標準断面図



洪水を安全に流下させるため、河川の拡幅と河床掘削することにより流下能力を確保し、沿線の家屋及び農地の浸水被害を防ぐ。



改修前(吉岡沢橋から下流)



改修後(吉岡沢橋から下流)